

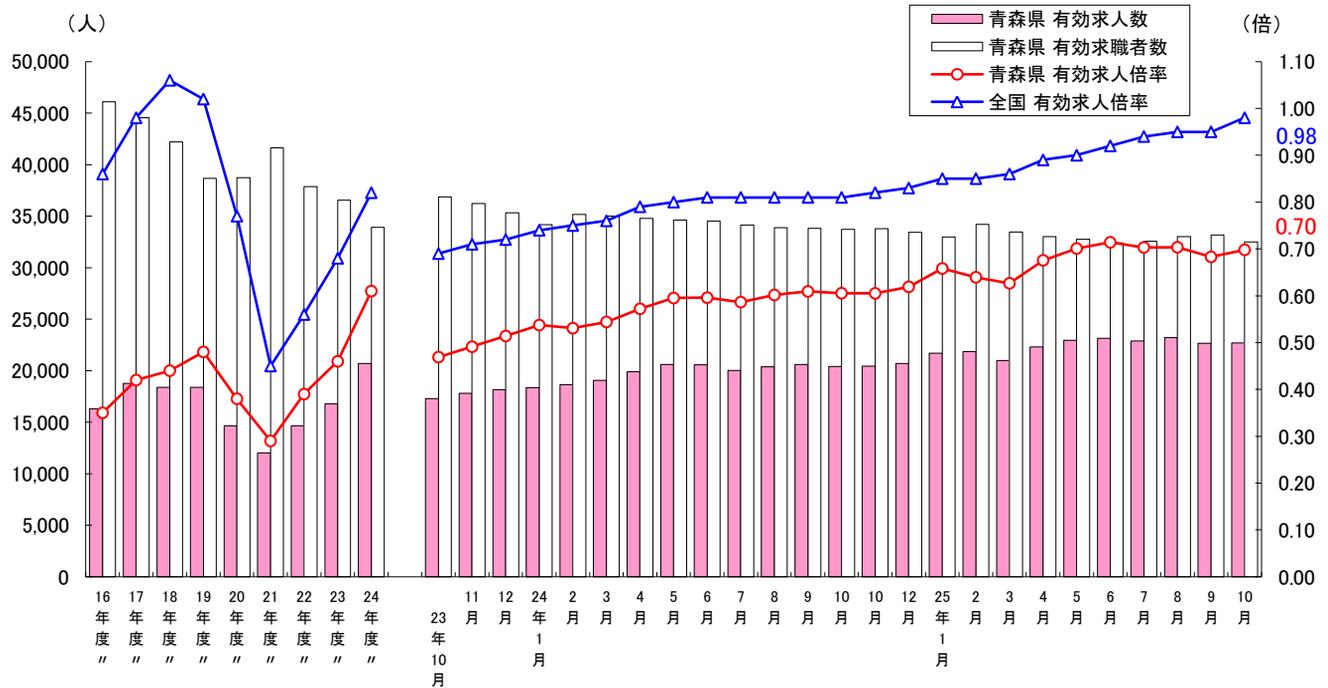
最近の雇用情勢について

(平成25年10月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

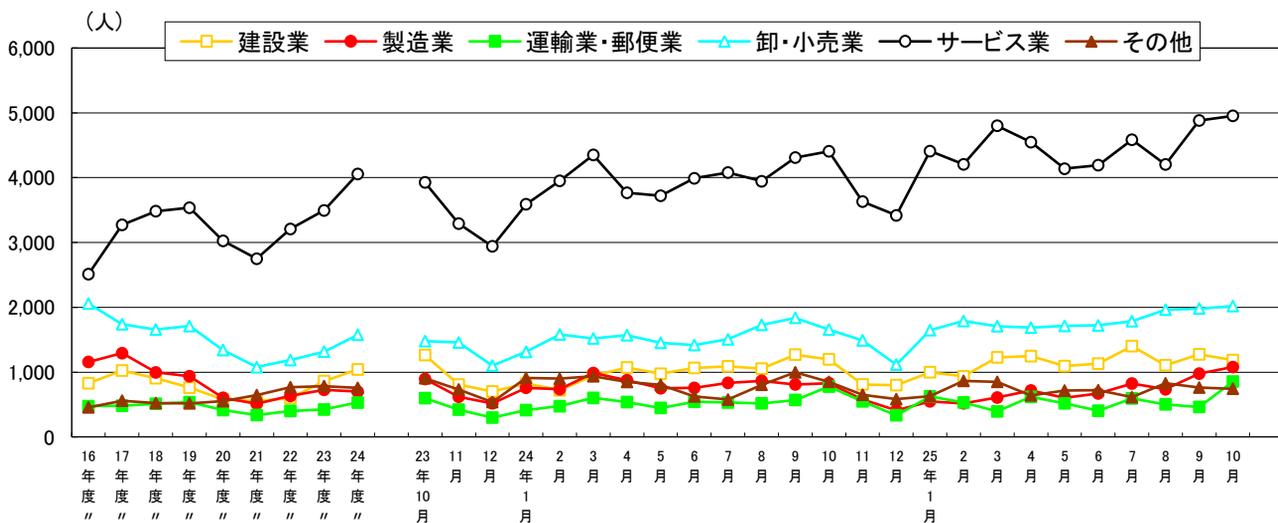
10月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.2%増加の22,692人、有効求職者数(同)は2.0%減少の32,507人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント上回る0.70倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

10月の新規求人(原数値)は前年同月比11.5%(1,116人)増加、前月比4.8%(496人)増加の10,836人。

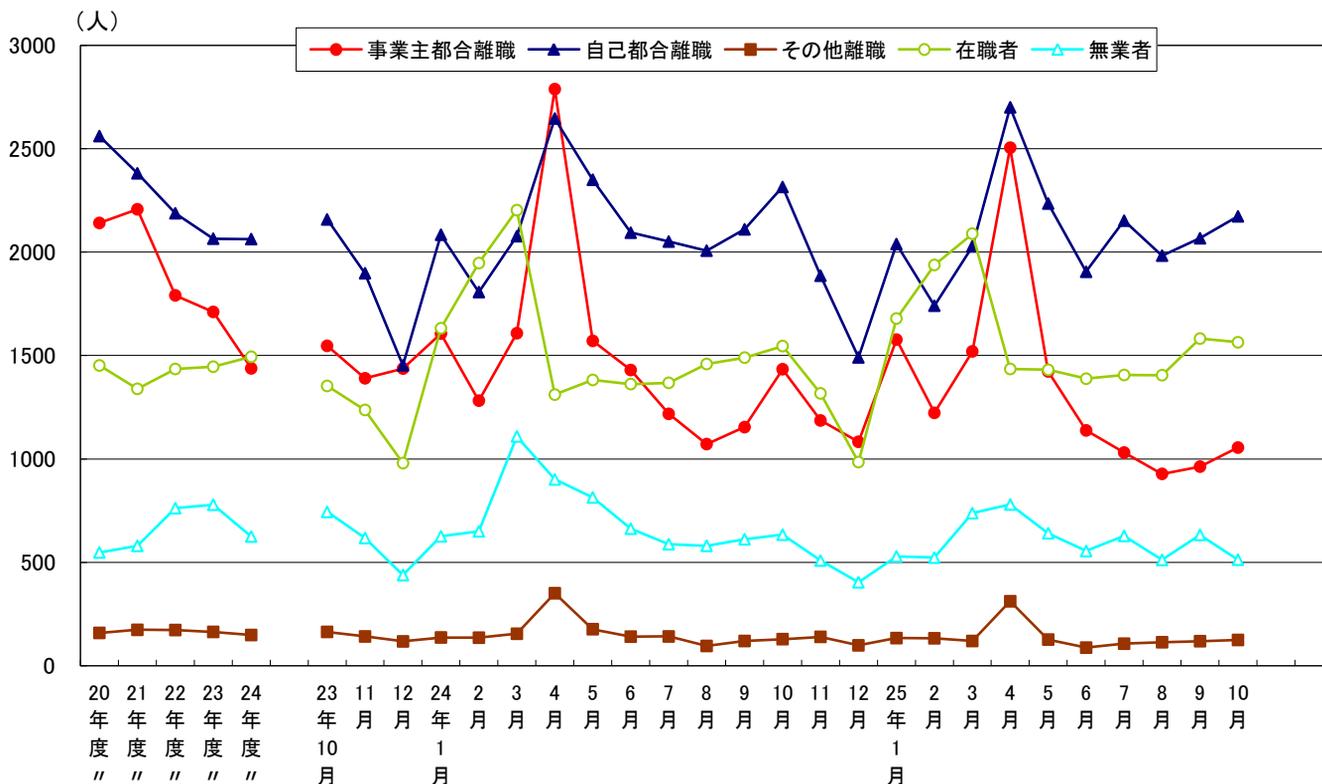
産業別に前年同月と比較すると、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、農、林、漁業、建設業、情報通信業、金融業、保険業、公務、その他等では減少となった。製造業では、繊維工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業等では減少となった。



平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

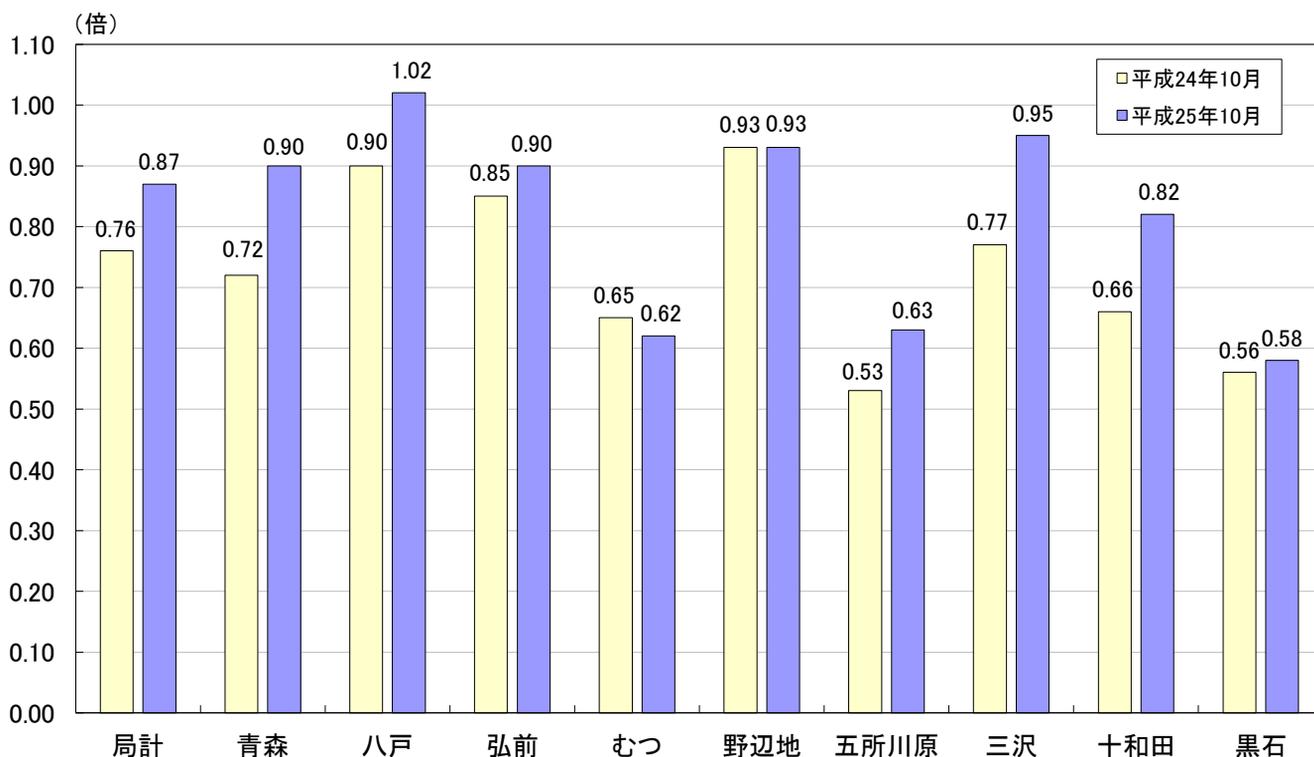
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

10月の新規求職者数は、前年同月比10.3% (627人)減少、前月比1.2% (67人)増加の5,431人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は1.2% (18人)増加し、離職者は13.5% (524人)の減少、無業者は19.1% (121人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は26.4% (379人)の減少、自己都合は6.1% (142人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

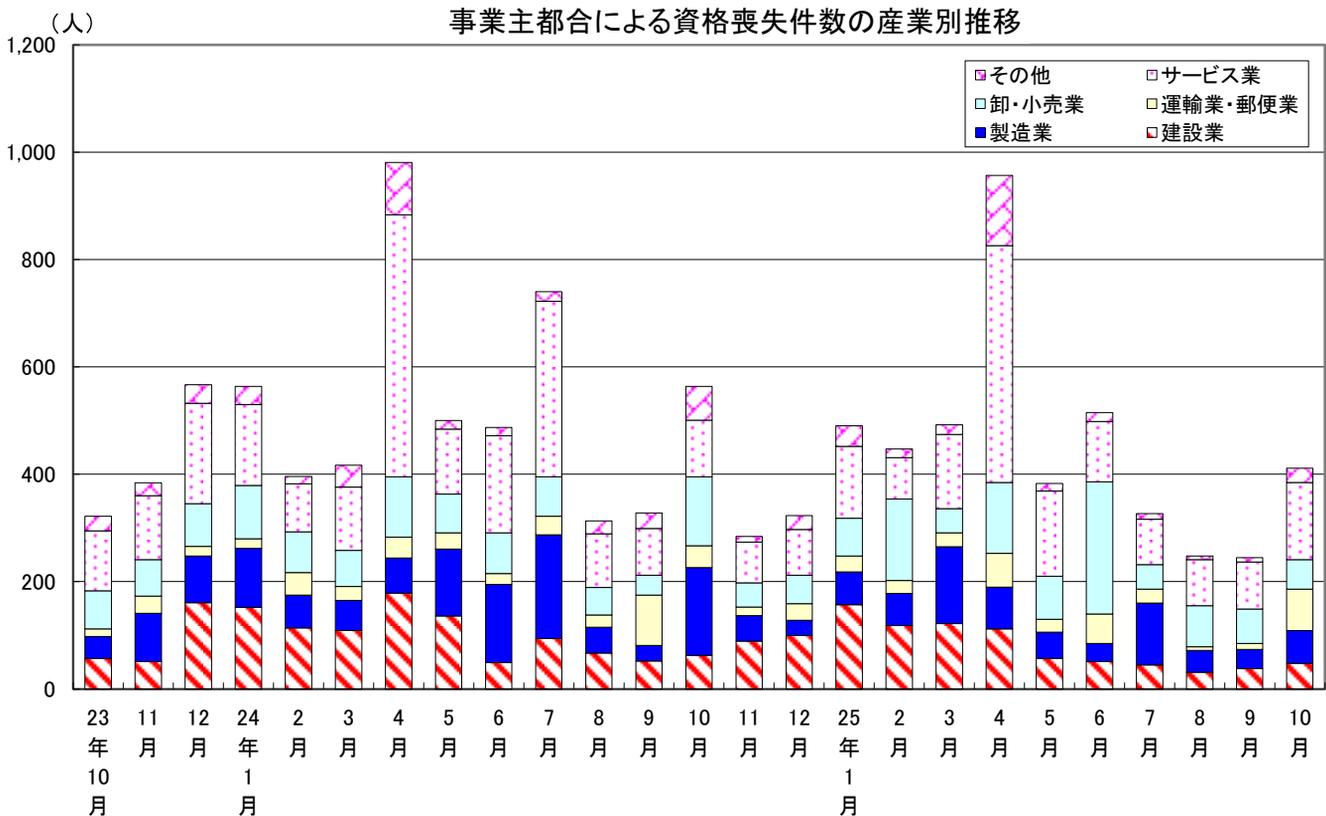
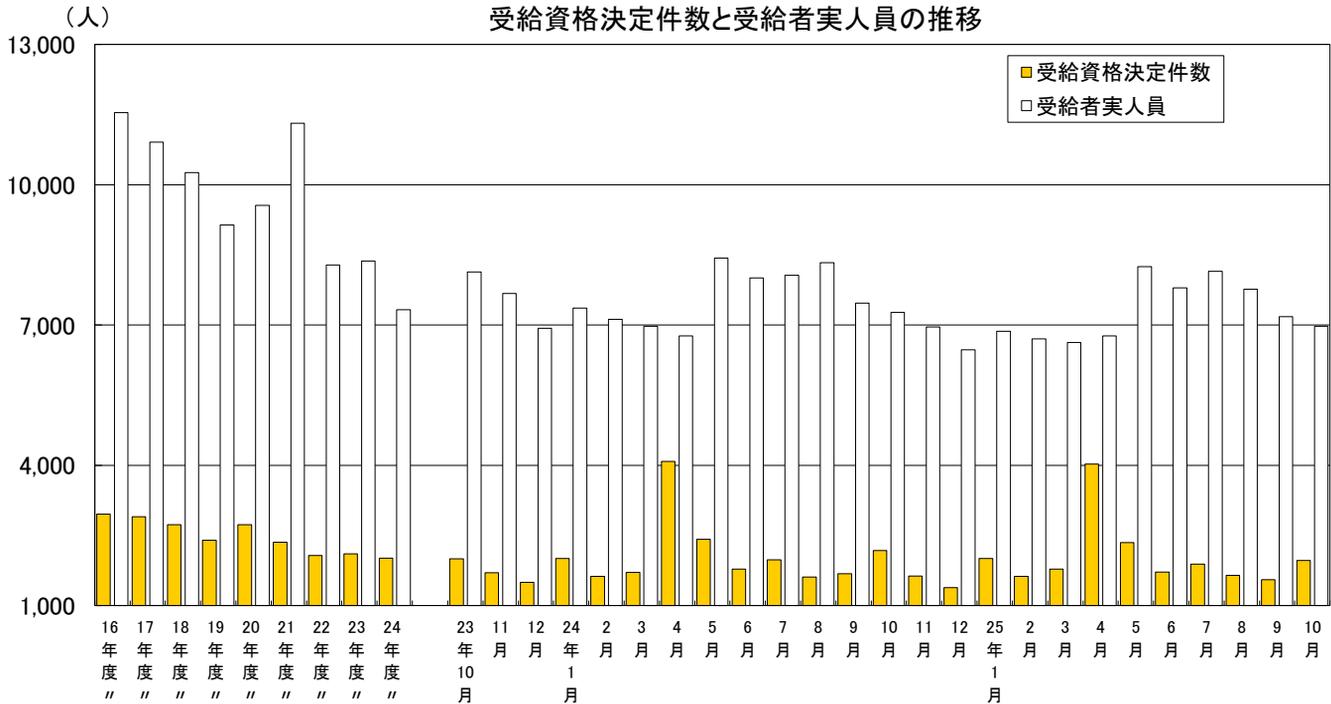
10月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.87倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比4.1%（296人）減少、前月比では2.9%（210人）減少の6,973人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比9.7%（211件）減少、前月比では26.7%（415件）増加の1,969件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比27.1%（153人）減少、前月比67.8%（166人）増加の411人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。